

2025年度 メリー★ポピンズkids北朝霞ルーム 事業計画書

I. 基本方針

2025年度 施設運営方針

「原点回帰」～毎日の時間を大切に人格形成の基本を確実に丁寧に～

人格形成期といわれ、人生の土台をつくる乳幼児期に、ホンモノの体験を経験することで子どもたちの生きる力を育てていく。

一人ひとりの「自分らしさ」が自然と作り出す、明るく朗らかな園の雰囲気を大切にし、それぞれの「やりたい」を尊重しながら共に育つことを楽しむ。

大人も子どもも主体性を大切にしながら、見守るだけでは育たない、大人が教えないと知り得ないことを子どもたちと一緒に経験し積み重ねていく。

そして日々成長している子どもたちをじっくりと観察し、興味や好奇心、行動の意味は何か。どんな遊びや人間関係が展開されているかを保育者一人ひとりが丁寧に読み取り、チーム間で共有することで日々の保育の質向上を目指す。

【2025年度 園目標】

今日の探究、繋がる明日

【目指すべき保育者の姿】

- ・子どもを常に真ん中におき子育てのパートナーである保護者と協力しながら子どもと共に成長する

〈I〉保育内容の充実・質の向上

1	計画・ねらい	子ども一人ひとりの姿を捉え・語り合う
	実践予定内容	子どもの姿や遊びを深く観察し、それを語り合うことで様々な角度から子どもの思い、興味関心を探る。子どもの姿や保育者の視点などそれぞれの違いをポジティブに面白がり、自分たちの保育を振り返る習慣を定着させる。
2	計画・ねらい	子どもの姿を捉えた保育計画の作成、実践、振り返りのOODAサイクルの定着
	実践予定内容	一人ひとりの発達を捉え、保育計画に落とし込む。実践し、振り返りを行い、環境を改善しさらに次の計画につなげていくサイクルを定着させる。各職員で完結させるのではなく、職員間で共有、意見交換を行うことで保育の質向上につなげ、未来にワクワクするような計画を作り上げる。
3	計画・ねらい	子どもの発達を改めて深く理解する
	実践予定内容	各年齢による発達を改めて学び直す。子どもの姿を捉え、計画していくサイクルの中で発達に適している内容や環境になっているか、職員一人ひとりがしっかりと把握していく。日々の日課なども、発達に応じた丁寧な環境ができるようにする。

〈2〉保育所を利用する子どもの保護者への支援

1	計画・ねらい	全職員が子どもを真ん中に置きながらも、保護者の気持ちや背景を理解し、寄り添う
	実践予定内容	子育ての背景や保護者自身を深く理解することで、自然と丁寧な接遇や信頼関係が出来上がっていく。保護者の知りたい情報や気持ちの良い対応を心がけ、安心して子どもを預けられるよう丁寧な対応をする。
2	計画・ねらい	自園の強み・特性を生かした園の様子や子どもの姿の記録と公開を行い、情報を発信する。
	実践予定内容	家庭と保育園の連携を密にして、保護者との信頼関係を築き子どもの発達や様子をタイムラインやドキュメンテーションなどを活用してわかりやすく伝えていく。
3	計画・ねらい	保護者がいつ来ても整理整頓されている気持ちの良い保育園にしていく。
	実践予定内容	保護者や来訪者の方が来た際は、すぐに保育者が対応し、視線を向けて万遍なく声をかける。園内外が常に整理整頓されており気持ちの良い保育園となるようにする。また日々の清掃や片付けなど職員の意識づけをしていく。

〈3〉地域の子育て支援事業

1	計画・ねらい	青空保育、園開放などによって保育園と地域のつながりを持つ。
	実践予定内容	青空保育、地域育児相談、次世代育成支援(実習生、中高生、職場体験、ボランティアの受け入れ)
2	計画・ねらい	「ちきんえっぐ」の定期的な開催により保育園を知ってもらう。
	実践予定内容	寺親屋、自然食堂、自然学校、芸術学校を開催し、多くの人に参加してもらえるような取り組みを行う。
3	計画・ねらい	保育園が地域の資源としてサービスの提供をする。
	実践予定内容	園開放による保育園と地域の共育で。園だより、ちきんえっぐだより、献立、食育だより、保健だよりなど子育て情報の提供や発信。子育て相談は随時行う。

〈4〉次世代を担うスタッフ育成

1	計画・ねらい	子どもの「生きようとする力」を捉える
	実践予定内容	ただ子どもと一緒に遊ぶのではなく、遊びに没頭する子どもを注意深く見つめ、子どもが生きる（遊び）中でどんな力を身に付けようとしているのか、興味関心や行動の意味、遊びや人間関係がどのように展開しているのかなどしっかりと観察し、捉えていく。
2	計画・ねらい	子どもの姿や発達に応じた、子どもたちが遊び遊びこめる環境の設定
	実践予定内容	遊びの姿を振り返り、子どもたちが自ら環境に働きかけ生きる力を育む環

		境を構築する。子どもの姿に応じ常にアップデートすることを怠らない。
3	計画・ねらい	職員一人ひとりが自分らしさを発揮する
	実践予定内容	固定概念に囚われず、スタッフ一人ひとりが子どもたちにとって『今一番大事なことは何か』を考え、計画する。 スタッフ自身の得意なことを保育に取り入れ活かしてだけでなく、苦手な面もさらけ出し互いに補い合っていく。得意分野や研修で得た知識を他のスタッフに伝えるアウトプットの機会を大切にし、それぞれのスキルアップを目指す。

〈5〉環境実施目標

1	計画・ねらい	畑仕事や食育体験を通して、食べるまでの過程・食の循環を体験する
	実践予定内容	・子どもたち自身が畑仕事(種まき・育てる・間引く・採る)や、食材加工(梅・ケチャップなど)の活動を実践する ・生きている食材(魚・鶏など)を調理し、食す活動の実践 ・再生野菜、コンポストを日常化し、食の循環を知る
2	計画・ねらい	自然と生活のつながり(生態系サービス)について理解を深める
	実践予定内容	戸外活動での日常的な動植物との触れ合いの中で、人間が自然の中で生かされている存在であるということに気づく。 ・畑の野菜の花に飛来する蜂の観察と調査 ・野草の収穫と実食 ・土づくりを通したミミズやケラがもたらす豊かな土壌の気づき など

< 6 > 主体的・対話的で深い学び(施設長が力を入れて取り組みたい内容)

1	計画・ねらい	園内研修の充実
	実践予定内容	園会議ではアクティブラーニングを意識した研修時間を多く確保し、全職員が保育について語り合い、インプット・アウトプットする機会とする。
2	計画・ねらい	子どもが主体的に興味関心を持ったことに対し、対話的で深い学びが得られる活動を展開する。
	実践予定内容	様々なものに触れる、使える経験を増やし、子ども自らが判断し様々な体験をできるようにする。子どもの姿に応じて対話的に活動を展開し、興味関心を広げていく。
3	計画・ねらい	ノンコンタクトタイムの確保
	実践予定内容	主体的・対話的で深い学びを実現するためには、ゆとりが必要不可欠である。大人も子どもも休息が取れる環境をしっかりと確保し、共に育ちあう仲間としての絆を深める。

2. 施設運営

〈1〉施設情報

児童定員

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
6人	10人	10人	12人	12人	12人	62人

〈2〉開所時間

7時00分～20時00分

〈3〉スタッフ構成（3月1日時点）

常勤 スタッフ	保育士	8人	看護師	1人	栄養士	1人	調理員等	1人
パート スタッフ	保育士	5人	補助	1人	調理	0人	事務	1人
	用務	1人						

3. 運営方針

〈1〉施設内会議の開催(勤務時間内)

施設内会議名	頻度	会議内容
園会議	月1回120分	保育運営について、行動計画の決定・共有、園内研修
給食運営会議	月1回	食育活動、喫食状況(残食の記録等)の確認、食事環境についての検討
事故防止委員会	月1回	自園及び系列園で起きた事故のケーススタディと改善策策定、全園事故防止委員会での内容共有、ヒヤリハット・インシデント分析
ケース会議	月1回	要支援児個別計画の振り返り及び省察、要支援児個別計画の見直し

〈2〉法人指定施設外会議への参加(勤務時間内)

施設外会議名	頻度	会議内容
施設長会議	月1回	連絡及び経営Visionとの接続
施設長勉強会	月1回	マネジメント・コンプライアンス、課題改善計画立案及び取組成果発表
食育会議	年4回	献立内容の改善・提案、給食提供マニュアル及び運用ルールの作成・見直し、食育計画策定
保健会議	年4回	感染症対策やガイドラインの作成・改善、保健計画策定
主任会議	月1回	各園の課題改善アクションプランの進捗確認と共有、マネジメント研修
子育ての質を上げる会議	月1回	マネジメント・コンプライアンス、課題改善計画立案及び取組成果発表

〈3〉各種係の設置

係名	職務内容・役割
衛生管理係	園内の衛生管理・衛生点検、安全管理や備品などの管理
安全対策係	避難訓練の実施や環境整備、安全な環境の整備
防火管理者	災害などに対して消防計画、避難訓練の立案、設備の管理
食品衛生責任者	食品の品質管理・衛生管理、調理室の衛生管理、食育会議の立案
畑係	年間農業計画の遂行、畑の管理

〈4〉行事別係の設置

係名	職務内容・役割
どろんこ祭り係	園、保護者、地域が一緒となり計画・開催
朝霞市民祭り 彩夏祭	地域活動の一環として有志の保護者、園児の補助

4. 保育方針

〈1〉基本方針

乳児保育	上半期 0～2歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい環境に少しずつ慣れ、特定の保育者に見守られながら情緒の安定を目指し、基本的な生活習慣の体得を図る。 ・一人ひとりの発達に適した環境を整え、的確に子どもたちを捉え子どもたちが自ら選択する保育を行う。
	下半期 0～1歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・活動量や活動範囲、成長に適した環境を整え、活動や食事、睡眠などに配慮していく。 ・他児や周囲への関心が高まり、探索活動が盛んに行えるような環境設定を考慮し、子どもたちがいきいきと遊びを楽しめるようにする。
幼児保育	上半期 3～5歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの社会性、主体性、意欲を培うための環境が整備された中で満足感を得られる保育を行う。 ・子どもたちが自ら気付き、感じ、考えて行動することの楽しさを味わえるような環境や機会を保育者が仕掛けていく。
	下半期 2～5歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・上半期で培ってきたことを自信に感じながら、自分よりも年下の友だちに対する思いやりや助け合いを持って関われるようにしていく。 ・年少児が年長児へのあこがれや期待感を抱きながら意欲的に行動できるような環境設定や異年齢保育を行う。
保育参加	4～3月	希望保護者による保育参加/参加後アンケート記入依頼
保護者面談 発達相談	随時	<ul style="list-style-type: none"> ・随時、希望する保護者に対し実施 ・「保護者面談記録」「子育て相談記録」を活用
意見・要望への対応	随時	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳、口頭でのご意見についても苦情対応マニュアルに従い「ご意見ご提案シート」を活用

〈2〉年間行事計画

- ・2025年2月及び3月に開催の「年間計画策定会議第1回・第2回」にて決定し、別紙「2025年度年間スケジュール」に掲載
- ・保育参加・保護者面談は随時開催

〈3〉給食・食育運営方針

1	計画・ねらい	丁寧な食事を提供し、落ち着いた空間で食を豊かなものにする。
	実践予定内容	子どもたちが食事に集中できる空間をつくり、保育者自身も子どもと一緒に食事を楽しみ、美味しさを共感できる時間にする。
2	計画・ねらい	食材や食の循環・環境への意識を身に付けていく。食を通してすべての物への感謝の気持ちを知る。
	実践予定内容	食材の下処理や準備、加工品などに関わる環境を作り、コンポストなどを活用して堆肥作りなどを行うことで環境への意識を育む。

〈4〉保健計画

園児健康診断	年2回（6月・11月）
歯科検診	年1回（6月）
保健だより	月1回（25日）発行
スタッフ健康診断	年1回
スタッフ検便	全スタッフ月1回（5日）
園児への保健指導・取組等	手洗い・うがい・歯磨き指導、性教育、自分の体の大切さを知る
流行が予測される感染症	通年・・・新型コロナウイルス 感染症予防のためのうがい・手洗い指導、定期的な換気と消毒の実施 6～8月頃・・・手足口病、ヘルパンギーナ、プール熱 11～2月頃・・・感染性胃腸炎、インフルエンザ
発作・痙攣等の対応のための薬の預かり	ダイアップ・・・1名より預かり済み／冷蔵庫にて保管 抗アレルギー薬・・・1名より預かり済み／冷蔵庫にて保管
エピペン使用できるスタッフ	本日現在15名が、研修受講し、修得済み 未受講の新入職員1名については4月30日までに受講予定
AED使用できるスタッフ （AED設置施設のみ）	本日現在19名が、研修受講し、修得済み 未受講の新入職員名については4月30日までに受講予定
その他保健に関する取組	新型コロナウイルスおよび他ウイルス感染予防のため、うがい指導・手洗い指導を行う。また消毒・換気を徹底する。

〈5〉各種点検

危機管理	設備点検・事故防止チェック	年4回／4・7・10・1月の25日
	防災自主点検 （備蓄品点検含む）	年2回／6・12月の25日
	避難消火訓練	毎月1回／15日
	不審者侵入訓練	年2回／6・12月の25日
	情報セキュリティチェック	年2回／5・11月
	誤飲・誤嚥防止チェック	年4回／4・7・10・1月の25日
衛生管理	衛生管理点検表／毎日	毎日
	衛生管理点検表／毎週	毎週金曜日

	衛生管理点検表／毎月	毎月10日
	個人衛生点検簿／毎日	毎日業務開始前
	検便・細菌検査	毎月1回／5日／全スタッフ
健康管理	予防接種状況・既往歴の確認 ／保険証期限確認	年2回／4・10月
	身長体重測定	毎月1回／20日
	児童健康診断	内科健診 年2回／6・11月 歯科健診 年1回／6月
運営管理	児童・保護者の人権に関する チェック	年2回／4・10月の園会議時
	コンピテンシー自己採点	毎月1回／園会議冒頭5分間
	利用者アンケート調査	年1回

〈6〉環境整備

1	計画・ねらい	戸外活動では身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味関心を持つ。
	実践予定内容	1日2回の散歩では生き物や植物が身近にあり、命の大切さや不思議さを体感できる環境を整える。室内でも動植物への気づきを視覚化するなどして戸外とのつながりを持つ。
2	計画・ねらい	自分から環境に関わり、自分で考え主体的に行動できる環境を整える。
	実践予定内容	異年齢保育の中で自分から関わる社会性を育むとともに、子どもの主体性を大切に、自分達で解決できるような援助をしていく。子どもの発達にに応じての必要なものを準備して、自らの意思で利用できる環境をつくる。
3	計画・ねらい	子どもの姿の共有と視覚化
	実践予定内容	子どもの写真やドキュメンテーションを掲示するなどして、子どもの姿や成長を捉え、視覚化する。 子育てのパートナーである保護者と共に子どもの姿を捉えることで、連携を深め保育の質の向上を目指す。

〈7〉手作り遊具・家具安全点検計画

手作り遊具・家具一覧

No	遊具・家具名	設置場所	点検予定時期
1	ベンチ	玄関	3ヶ月に1回

2	ベンチ	幼児室	3ヶ月に1回
3	棚	調乳室	3ヶ月に1回
4	棚	幼児室	3ヶ月に1回
5			

5. 危機管理（防災・ケガ事故防止・防犯・光化学スモッグ）

1	防災	危機管理マニュアルNo.3の災害対策に則り、消防計画、避難訓練、避難訓練開催通知、自衛消防訓練通知、普通救命救急資格取得手続き、防災自主点検、危機管理マニュアルの周知、自衛消防組織と安全対策係の設置、緊急地震速報運用を行う。
2	ケガ事故防止	危機管理マニュアルのケガ事故防止・安全点検と保全に則り、事故防止チェック及び設備点検チェックの実施、安全教育、SIDS防止策を行い、ケガ発生時には対応のフローチャートに従う。
3	防犯	危機管理マニュアルNo.3の不審者対策に則り、不審者侵入訓練の実施、笛の携帯、代理送迎者の把握、不審者情報の収集と共有を行う。 不審者侵入時には対応フローチャートに従う。
4	光化学スモッグ	危機管理マニュアルNo.3の光化学スモッグ対策に則り、光化学スモッグの知識を身に付け、職員全員が自治体の「光化学スモッグ注意報発令メール配信システム」に登録し、注意報発令の把握を行う。 光化学スモッグ発生時には対応フローチャートに従う。

6. 実習生・中高生の受入

〈1〉今年度方針・テーマ

地域におけるボランティアの養成とともに、次の世代を担う保育・福祉の現場で活躍する人材を育成するために実習生・研修生を積極的に受け入れる。

1	中学生の職業体験	積極的に受け入れ、安心して体験学習を行えるように配慮する。子どもに関わる仕事がどのような仕事なのか、興味関心を広げられるような関わりを持つ。
2	保育養成校の学生の実習	積極的に受け入れ、安心して実習を行えるように配慮する。学生自身の気付きを大切に丁寧な振り返りを行い、保育や福祉の現場で活躍できる人材を育てる。
3	一般及び学生の各種ボランティア	積極的に受け入れ、安心してボランティアなどを行えるように配慮する。また、保育や福祉の現場に興味関心を持ってもらう。

7. スタッフ育成と研修計画

〈1〉2025年度 園内研修計画

(毎月開催の園会議の時間内を使用して自園にて実施)

開催日	開催時刻	名称・テーマ	ねらい・共通理解する保育課題
4月25日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② ケガ・ケーススタディ	・ 自園・他園の事例研修 ・ リスクマネジメントの意識向上 ・ 子どもの姿の共有
5月25日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 養護と教育について ③ 人権チェック	・ 養護と教育が一体となった質の高い保育のディスカッション ・ 子どもの人権の再確認と日々の保育の振り返り
6月29日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② ポートフォリオの作成 ③ 水辺のリスク管理	・ ペアポートフォリオ作成による多面的な子どもの姿の把握や各職員の業務の理解 ・ プール活動の流れの確認と準備
7月25日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 年代別研修 ③ ポートフォリオ研修	・ タイプ別リーダーシップの把握 ・ 写真から子どもの姿を捉えるディスカッション ・ 6月に作成したポートフォリオの発表
8月22日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 子どもの観察と記録 ③ 環境構成	・ 子どもの姿を多面的に捉えるウェブの活用 ・ 子どもの姿から環境構成へと繋げるグループワーク
9月26日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 子どもの観察と保育者の関わり	・ 子どもの姿（発達）を深く読み解き、保育者がどのように関わったかを共有する
10月24日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 虐待防止研修	・ 5月に行った質の高い保育を再確認し、日頃の保育を振り返る。 適切な関わりができているかどうか考える。
11月28日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 子どもの観察と保育者の関わり	・ 自己の保育の振り返りと目標設定 ・ 保育の姿勢、子どもの姿の捉え方、保育の援助、環境等の具体的な見直し
12月26日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点	・ 自己の保育の振り返りと目標設定

		② 子どもの姿と計画	・ウェブを活用し、子どもの姿を捉えた保育計画の作成
1月30日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 子どもの遊びと環境構成	・ 自己の保育の振り返りと目標設定 ・
2月13日	18:00～21:00	① 第一回策定会議	・ 自己の保育の振り返りと目標設定 ・ 次年度の目標を決め、年間計画を策定する
3月1日	09:00～18:00	② 第二回策定会議	・ 自己の保育の振り返りと目標設定 ・ 農業計画を立てて、作物の栽培に必要な知識を身につける。

〈2〉外部研修への出席

事業継続に必要な外部研修については、承認を得たうえで出席する。

〈3〉法人支援制度の活用・出席

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
業務改善研修（子育ての質を上げる会議）	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回
施設長勉強会	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回
園長大学®保育士大学講座および社内限定公開講座	園長大学®保育士大学講座および社内限定公開講座を活用											
全社員研修	9月～11月までの間に録画視聴（全スタッフ対象）											
リーダー養成研修	選ばれたスタッフが参加予定											
デンマークインターンシップ	希望するスタッフが応募											

〈4〉スタッフ個人別育成計画

施設長が年1回実施するフィードバック面談時に「個人ごとの次期の目標設定と併せて、次期の育成計画を施設長が所定様式を使用して個々に伝える。半期に一度、中間面談の実施を行い、進捗確認をする。

8. 地域交流計画

〈1〉今年度方針・テーマ

地域の様々な人、場所、関係機関などと連携を図りながら、地域に開かれた園として地域の子育て支援の向上に貢献していく。

〈2〉具体的な地域交流計画

活動行事	詳細
どろんこ祭り	年1回 集客目標：100名
青空保育（保育園主催）	月1回 公園名：北割公園にて 集客目標：30名
商店街ツアー	週1回
世代間交流	・ 高齢者施設訪問 ・ 中高生の体験学習受け入れ、ボランティアの受け入れ
異年齢交流	・ 近隣保育園との交流
地域拠点活動	・ ちきんえっぐ開催、寺親屋、自然食堂、芸術学校 ・ 青空保育
銭湯でお風呂の日	月1回 〈3～5歳児〉

9. 小学校との連携の計画

（施設長確認ナビゲーション）国の指針に準じ、『職員間交流』と『子ども間交流』の両者を計画的にバランス良く盛り込んで記載してください。実施に際しては、年度初めまでに「5歳児と小学校1年生との年間連携計画および報告書」を作成して実施してください。アプローチカリキュラム作成も合わせて行っていきましょう。

小学校教諭および保護者を交えた学習指導要領の読み解きについて実行できる施設は積極的に行ってください。（以上のナビゲーションは、本事業計画書を入力する際に削除してください。）

〈1〉今年度方針・テーマ

- ・ 職員や年長児が小学校を訪問してお互いの情報を共有し、安心して就学できるようにする。
- ・ 小学校との交流活動(小学校見学・小学校公開授業見学など)を通して学校を知る機会を作る。

〈2〉具体的な連携計画

以下計画について、小学校と相談・協議を5月より開始する。

日程	学校名・クラス名	参加人数	活動計画(会場)	目的
----	----------	------	----------	----

9月頃	朝霞第七小学校	12名予定	学校見学（朝霞第七小学校内）	見学
11月頃	朝霞第五小学校	12名予定	学校見学・授業参観（朝霞第五小学校校内）	子ども間交流
1月頃	朝霞第七小学校	2名予定	授業参観（朝霞第七小教室）	職員間交流
2月頃	市内小学校	1名予定	園児引き継ぎ（市内施設）	職員間交流

10. 要支援児計画

〈1〉個別支援計画の作成・見直し

子どもの状況に応じた保育を行う観点から、家庭や関係機関と連携した支援のための個別支援計画を作成する。

〈2〉毎月のケース会議開催

（4～3月に計12回開催予定 参加者：6名予定）

- ・要支援児個別計画の振り返り及び省察
- ・要支援児個別計画の見直し

〈3〉進級引継、および、小学校への引継

- ・進級引継ぎは書面を用いて子どもの様子を共有する。
- ・小学校への引継ぎは朝霞市児童要録、または各校担当教員との面談によって行う。

11. 子育て支援事業

園に来訪した親子に都度署名をもらい、月間延来場者数を自治体に報告する。

実施項目	詳細
園開放	（月）～（土）9:30～16:30 集客目標：20名 （施設長確認ナビゲーション） 園開放は運営全園にて9:30～16:30にて実施。補助金を受給しているセンター園については、10:00～12:00と13:00～16:00の計5時間は2名の職員を配置とし、その他時間帯は自主事業として実施する。

子育て相談	(月)～(土) 13:00～16:30 集客目標：20名
自然食堂…親子ランチ交流	毎月 第二金曜 10:00～12:00 集客目標：20名
どろんこ芸術学校 どろんこ自然学校	毎週火曜 10:00～12:00 集客目標：20名
勝手籠設置	(月)～(土) 7:00～20:00
ちきんえっぐだより	毎月1日発行
青空保育（支援センター主催）	月1回 公園名：北割公園にて開催 集客目標：20名

Ⅰ 2. 園運営の向上

〈1〉福祉サービス第三者評価の受審

受審予定なし

〈2〉園による自己評価の実施

2025年7月に「内部監査チェック表」を用いて、以下の通り、自己評価を実施予定である。

自己評価開始予定時刻：8時30分

自己評価終了予定時刻：17時00分

自己評価実施予定者：施設長、主任、職員

〈3〉利用者アンケートの実施

施設利用保護者に対してアンケートを実施し、評価結果を開示する。

アンケート配布予定日：8月25日

Ⅰ 3. 3カ年計画の具体化

〈1〉昨年度の振り返り

3月末までに目指した姿	重点施策	保育者一人ひとりの丁寧な子ども理解
	振り返り	まずは日々の生活、保育を丁寧に行えるよう、職員全員で意識して取り組む。「丁寧さ」は様々なことに繋がることに気付き、それが子どもたちへの「養護」が十分に行き届く環境となる。 保育者一人ひとりが、子どもの遊びを観察し、興味関心を探ることは少しずつ意識することができたが、子どもの姿や遊びから環境を構成していくことや、保育計画に繋げていくことは来年度以降の課題として継続して取り組んでいきたい。

〈2〉当年度以降の3カ年計画

2025年度	目指す姿	子どもの観察を丁寧に行い、それに応じた環境設定を行う 質の高い接遇や美観を提供し、選ばれる施設となる
	重点施策	子どもと子どもの遊びを観察し、保育者はどのように関わったらいいかを、多角的な視点で捉えられるようにしていく。子どもたちに応じた環境を設定し、遊びを選びとれる環境を設定していく。 園を訪れた方が、美観、接遇対応ともに気持ち良さを感じ、保育園に対して信頼を抱いていただける施設となる。
2026年度	目指す姿	保育のアセスメントを日常的に行い、保育の質を高める。 地域に保育園の取り組みを知っていただく。
	重点施策	環境、保育者の関わりなど様々な面から保育を振り返り、日々保育を改善できるようにする。振り返りは職員間で共有し、園全体で保育の質をあげていく。 園で行っている子育て事業を地域に知らせ参加していただく。子育て支援のみならず、地域の保護者同士をつなぐ役割も担い、不安を抱える保護者を孤立させないようにする。
2027年度	目指す姿	チーム保育の定着 地域に開かれた保育園となる
	重点施策	職員一人ひとりが子どもを一人の人間として尊重し、丁寧に受容的で応答的な保育を行う。そこを基盤としたうえで、保育者一人ひとりの様々な視点や考え方を園全体で共有し、子どもの姿を多角的に捉え、意識的に関わり成長につなげる。 地域の保護者にとって園の存在が相談場所や仲間と会える場所になる。 また子育て支援の活動に、地域の方の力を借りて一緒に支援する取り組みを行ったり、必要な地域の情報を発信したり、役割を果たしていく。

以上

作成日：2025年3月15日 作成者：メリー★ポピンスkids北朝霞ルーム 施設長 横田修太郎